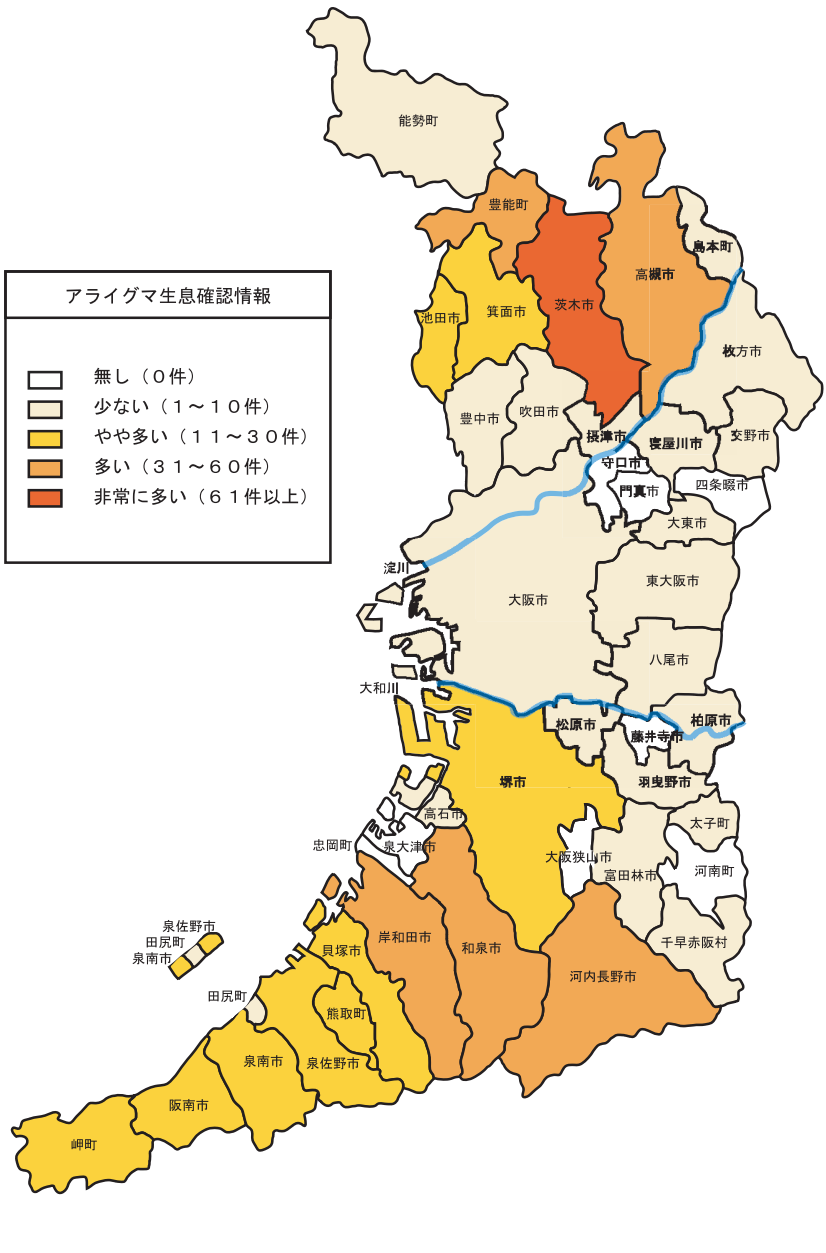


大阪府内43市町村中、35市町村で野生化アライグマの生息情報がありました。

(平成16年度大阪府アライグマ被害対策モデル事業・被害防除対策調査による)



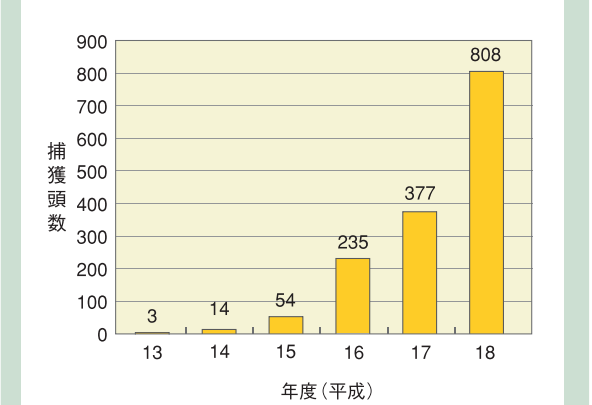
● アライグマの増加傾向

アライグマは、野外に定着すると急激に個体数が増加し、それに伴って種々の被害を発生させます。

個体数を減少させるためには、年間の増加数以上の個体を毎年捕獲しなければならず、一旦増えてしまうと、これを減らすことは容易ではありません。

大阪府域においては、平成14年度以降、捕獲頭数が急激に増加しており、今後、爆発的な個体数の増加が予想されます。生息の早期発見と、捕獲等の対策が望まれています。

● 大阪府域における捕獲頭数の年次変化



(有害鳥獣捕獲許可に基づく捕獲、並びに警察への持ち込み等)

